普及活動情勢報告（令和８年９月分）

高吾農業改良普及所

～　さらなる学びと交流　～　高吾地区農村女性リーダー視察研修



JA高知県園芸流通センター見学

8月24日、普及所は、管内の農村女性リーダーと女性農業者10名を対象に、女性農業者のスキルアップとネットワーク強化を目的として、高知市で視察研修を行いました。

ＪＡ高知県園芸流通センター等で流通システムや残留農薬検査を学んだ後、現地の農村女性リーダーのハウスを見学し、意見交換を行いました。参加者からは「出荷後のニラがどのように扱われているのかを流通センターで実際に見ることができ、参加者からは、「貴重な経験になった」「女性農業者の新しいことにチャレンジする姿勢に刺激を受けた」といった多くの感想が寄せられ、有意義な学びの場となりました。

普及所では、今後も意欲ある女性農業者を支援するとともに、さらなる学びと交流の場を提供していきます。

新高梨の今年の状況は？ ～新高梨の査定会を開催～



査定会の様子

９月12日、普及所と黒岩梨出荷組合は新高梨の査定会を開催し、生産農家16戸が参加しました。

普及所からは、今年の生育状況や積算温度をもとにした収穫時期の目安について説明を行いました。また、その場で果実分析を行い、果実の大きさや糖度、みつ症の発生程度などを確認しました。

生産者からは、「今年は糖度が高い」といった声やみつ症の発生を心配する声が聞かれました。また、果実分析では果肉が固いが糖度が高く、果実内部が想定よりも熟していることに驚く声が多数聞かれました。

普及所は、今後も個別巡回や果実分析を通して、梨の適期収穫に向けた情報提供を行い、梨の生産安定を図っていきます。

佐川町でイチゴ栽培、はじめませんか？　　～新・農業人フェア　大阪～



来場者へ説明する様子

9月13日、グランキューブ大阪で「新・農業人フェア」が開催され、出展した佐川町の職員2名、イチゴ生産者1名とともに普及所も1名が参加しました。

今回は佐川町でイチゴの栽培を希望する方を募集すべく、ブースをイチゴカラーに装飾し、目につきやすいように工夫しました。ブースには10組11人の方が訪れ、佐川町でのイチゴ栽培の特徴や研修制度、佐川町での暮らしや生活支援制度などについて説明しました。ブースを訪れた方の中には、地域おこし協力隊に興味を示される方もおり、今後も引き続き連絡を取っていく予定です。

普及所は今後も、就農イベントへの参加や就農面談などを通して、佐川町のイチゴの担い手確保を支援していきます。